

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援 なかよし園

公表日 令和7年2月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・療育室や訓練室を有効に使用して、日々の療育を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・保育士、児童指導員を基準以上に配置し、丁寧な関わりを行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・一人ひとりの子どもの特性に合わせて「構造化」を意識して環境設定を行っている。 また、クッション性のある床を使用し、快適に過ごさせている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・感染症対策を行い、療育が終わる度に室内及び遊具等の消毒を行い、清潔には配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・衝立を使用し仕切ったり、訓練室を使用したりと個別に対応できるように環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・年間の療育計画及び個々の子どもの支援計画をもとに日々の療育の打ち合わせを行い、職員間で情報の共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者との面談を通して、保護者の意向を把握し、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・職員会や職員との面談を通して、職員の意向を把握し、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・効果的な外部評価を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・法人の研修が充実しており、国内でも毎月テーマを決めて職場内研修を行っている。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・5領域を踏まえたうえで作成し、ホームページにて公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・個別面談を行い、保護者の子どもに関する困り感に耳を傾けて、助言を行っている。 個別支援計画に反映させている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援作成会議を行ったり、日々の療育の振り返りをしたりと支援方法を検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個々の子どもの状態を把握し、必要な支援を行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・発達検査の内容や日々の療育後に子どもの様子を振り返り、記録し、確認をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・家庭の状況やニーズを把握し、児童発達支援計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・子どもの状態を共有しながら支援方法の話し合いを行い立案している。また、専門療法士の意見も参考にしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・構成遊あそび、感覚あそび、社会的あそびを活動の中に組み入れている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・小集団の活動の中で、一人ひとり担当が付き、個別で関わり支援をしている。 また、個別の訓練も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・必ず打ち合わせを行っている。その中で一日の流れや配慮事項、個々の子どもに有効であった支援の内容や必要と思われる事を職員間で伝達し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎回、些細なことでも口頭で伝達し合い、特に気になったことは、伝達事項の記録ノートに記入し、全職員が閲覧できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々、個別日誌に記録をとると共に、受けた訓練は、専門療法士を交えてカンファレンスを行い記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・相談支援専門員と共に、モニタリングを行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・併行通園先の保育園や幼稚園との連絡会を行い、情報の共有や連携を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学予定先の学校見学を行い、支援の様子や内容を保護者と共に把握し、安心して通学できるようにしている。また、学校とも連携し、相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・今後は状況を見ながら検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・親子通園のため、日々療育を行ったうえで様子や今後について話し合っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者が参加できる勉強会やリフレッシュ講座を実施している。	・令和7年度は、ペアレントトレーニングを実施する予定です。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用者負担代理受領を手渡ししながら、説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別面談を行い、保護者や子どもの意向を把握している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別面談を行う際に支援計画の開示を行い、同意の署名をもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・個別面談を行い、その都度、相談に応じている。 ・降園時にその日の報告を行う際に相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者向けの勉強会やリフレッシュ講座を開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・親子通園のため、相談しやすい体制が取れている。 ・随時、相談や申し入れについて対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、園だよりを発行し行事予定や連絡事項、情報を提供している。特別な行事については、別紙にて発信している。 ・定期的にHPにて活動内容を載せている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・法人のプライバシーポリシーの下、十分に配慮している。ホームページの公表に関しても事前に承諾を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・月に数回、地域の方が体験できる子育て広場を実施している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・緊急対応マニュアル、防犯対応マニュアルを作成し、実際に定期的に訓練も行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・非常災害の発生に備え、マニュアルを作成している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・非常災害対策に記載している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・入所面接時に確認し、指示書の有無を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・小さな事でもその都度、記録に残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部の研修会に参加したり、年一回は必ず職員研修を実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在は、対象の子どもがいない。		